

1969(昭和44)年11月創刊

2024(令和6)年 1月30日(火) 14293号



株式会社 日刊金属

本社 大阪市北区天満2丁目12番地3号
 ヴィレッジリバー南森町3階E号

TEL : 06-6353-7831

FAX : 06-6353-7832

MAIL : metal_info_osaka@nikkankinzoku.jp

WEB : https://homenikkankinzoku.jp/

購読料 12か月 77,760円 外電配信料 12か月 92,400円
 6か月 38,880円 6か月 46,200円

新年会開催

「隣接業界ともwin winを(清川会長)」

関西亜鉛工業会

関西亜鉛工業会(清川昇尉会長)はこのほど大阪市北区内で新年会を開き、会員各社の社長などが出席し、懇親を深めた。清川会長(株式会社清川亜鉛工業所社長)は、能登半島北陸震災の犠牲者・被災者に哀悼・お見舞いを述べて挨拶=写真。経済・経営環境が厳しいなか、業界の立ち位置を理解し、隣接業界ともwin win関係をつくる重要性などを語った(挨拶の要約は以下の通り)。

続いて橋本圭祐副会長(ナニワ化工有限会社社長)の音頭で乾杯。歓談交流を深め、林泰伸副会長(株式会社林金属工業所社長)が挨拶と一本締めを行った。

〈清川会長挨拶の要約〉

昨年は、ロシアとウクライナの問題が続き、ハマスとイスラエルの戦争も起こった。アジアに目を向けても、北朝鮮と韓国の緊張、中国と台湾のさらなる緊張、世界全体を見ても平和が見えない1年だったと思う。経済的には、中国で恒大集団をはじめとした不動産市況の悪化などが露呈し、シャドウバンク問題の再燃もあり、不安定な経済状況だった。

一方、グローバルサウスの台頭などもあり、全体で見れば、経済的な部分、外交的な部分で世界全体のベクトルが定まらない1年だったと思う。



亜鉛市況は、昨年1月にLME在庫が2万トンを切り、過去最低の数量となった。ロシア・ウクライナ問題での原油、天然ガスの相場の急騰、それに伴うヨーロッパの亜鉛生産国の

減産が要因になっている。昨年11月には20万トンを超えたが、エネルギー相場がピークアウトしたこと、昨年1年、消費の弱さが加味され、少しずつ増えていると思う。

昨年1年の世界需給は25万トンのプラスで、今年は36万トンの供給過剰と予測されている。去年1年間は2,650ドルぐらいの平均で、亜鉛建値も円安傾向が続いて43万円ぐらいだったが、先日、今年はコストが高くなるため亜鉛鉱石がタイトになり、少しずつ相場が上がるのではないかと予測が出された。

いずれにしろ、コモディティ全般は金融のほうに完全に行っているの、どのような流れになるのかはその時にならないと分らず、そのなかで動いて行かなければならないと思う。

亜鉛業界の状況は、コロナ禍の時からボディブローのように少しずつ小さくなってきているように思う。

EV化の流れがあるので関連などは多少上向き感があるかもしれないが、土木、建築関係は住宅着工件数も少なく、前年比マイナスが続いているため厳しい状況で、数年かけて上向きになればいいのではないだろうか。

一方、根っこの問題としては人手不足、雇用がどんどん難しくなり、2024年問題がある。労働時間の制約が入り、どの業界も悩んでいると思うが、とにかく生産効率を上げることができなければ、厚みが戻って来ないと思う。

しかし、すぐに解決できることではなく、しばらく我慢、難しい局面が続くのではないかと考えている。

関西亜鉛工業会では、隣接する業界の方々のなかで、我々の業界の立ち位置を正しく認識し、隣接する方々とのようにうまくお付き合いをしていくのか。その役割を常に考えて行動していかなければ、今の時代、これから時代は難しくなる。何かにつけ、今まで通りでいいや、ということが通じなくなっており、自分たちの立ち位置を理解しながら、お客さんにも説明してご理解をいただき、win winの関係になって行けば良いと思う。

それぞれ各社で抱えておられる問題がクリアできて会社が発展することが、ひいては関西亜鉛工業会の発展につながる。難しい局面がこれからも続くが、関西亜鉛工業会の発展のために皆さんの相互協力、親睦を深め、今年も一年、情報交換など尽力をしていただきたい。

電気亜鉛・蒸留亜鉛販売
 亜鉛ドロス・滓買入

大阪亜鉛工業株式会社

取締役会長 林 昭宏

本社・工場 〒555-0001 大阪市西淀川区佃 4-14-3

電話 06-6471-2531~5

FAX 06-6471-5781

東京営業所 〒131-0043 東京都墨田区立花 2-4-5

電話 03-3618-2351~2



銅建値は2万円引き上げの130万円

2024年1月の月内建値平均は126万5,200円

JX金属は29日、電気銅建値を2万円引き上げの130万円にすると発表、同日より実施。1月の月内建値平均は126万5,200円。27日に入電した直近のLME銅相場前場売値が8,447.00ドル。29日の東京市場の米ドルTTSレートは149.25円。この値で換算した採算価格は、126万700円。建値と採算価格から見た諸掛りは3万9,300円。

直近6か月の建値推移は次の通り(キロ当たり円、カッコ内は改訂日)。

2023年

8月	1310(1)	1270(3)	1260(8)	1250(15)	1260(22)	1270(25)	平均1266.0
9月	1280(1)	1300(6)	1280(8)	1290(14)	1270(20)	1260(26)	平均1277.8
10月	1280(2)	1240(4)	1220(6)	1230(12)	1240(19)	1250(25)	平均1241.5
11月	1270(1)	1280(7)	1270(10)	1290(16)	1300(27)		平均1283.1
12月	1300(1)	1270(6)	1250(8)	1230(14)	1250(18)	1280(20)	平均1267.3

2024年

1月	1250(4)	1240(10)	1260(16)	1270(19)	1280(24)	1300(29)	平均1265.2
----	---------	----------	----------	----------	----------	----------	----------



黄銅削粉買値は24円引き上げの921円

関西の黄銅棒大手メーカー日本伸銅は29日、黄銅削粉買値を24円引き上げの921円と発表した。今月6回目の改定。1月の月内買値平均は890.3円。

国際展示会に大容量通信ケーブル

1月30日～2月2日

住友電工

住友電気工業株式会社(井上治社長)は、2024年1月30日から2月2日までスペイン・バルセロナで開かれる世界最大規模のオーディオビジュアル・システムインテグレーション展示会「Integrated Systems Europe 2024」(ISE)に、高速伝送の最新規格「Thunderbolt™ 4」に対応し大容量通信が可能な「Thunderbolt™ 4」ケーブルを出展。

同ケーブルは、モバイルパソコンと接続することにより、1本のケーブルで充電およびThunderbolt™デバイス(HDDやディスプレイ等)との接続が可能。USB4、Thunderbolt™3、DP2.1の3つの規格に互換性があり、接続されたデバイス間でデータ伝送と同時に給電。

展示製品は、Thunderbolt™4 Passive Cable(1.0m, EPR, DP2.1対応)／Thunderbolt™4 Active Cable(2.0m, EPR, DP2.1対応)／Optical Cable USB4 AOC Thunderbolt™。

ISEは、オーディオビジュアル・システムインテグレーションの大規模展示会で2004年から開催。23年は世界から約1,000社が出展、約13万人が来場した。

鋳物用銅合金地金

特殊銅合金各種製造
砲金くず・ラジエーターくず等



角丁原料全般買受け

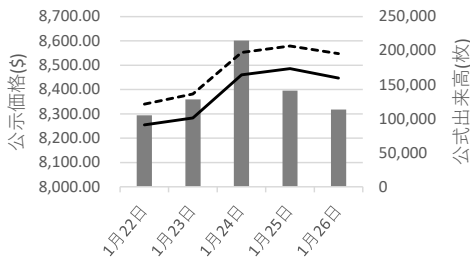
京和ブロンズ株式会社

京都府久世郡久御山町佐山新開地314

電話 0774-43-6700(代表)

LME公式値週間推移 1月22日～1月26日(現地)

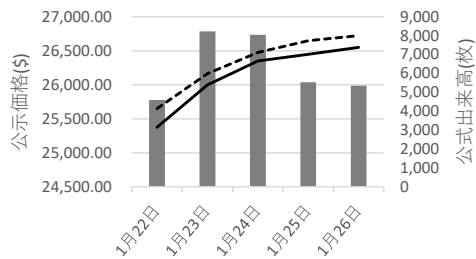
LME銅AG



	1月22日	1月23日	1月24日	1月25日	1月26日
出来高	105,002	128,303	214,827	141,076	113,523
直物	8,254.50	8,283.50	8,460.00	8,486.00	8,447.00
先物	8,340.00	8,382.00	8,552.00	8,579.00	8,547.50

出来高 直物 先物

LME錫HG



	1月22日	1月23日	1月24日	1月25日	1月26日
出来高	4,601	8,227	8,053	5,539	5,360
直物	25,375.00	26,000.00	26,350.00	26,450.00	26,550.00
先物	25,650.00	26,165.00	26,475.00	26,650.00	26,725.00

出来高 直物 先物

※ 1月26日の出来高は速報値です



エネルギー・金属鉱物資源機構 (114)
2023年
金属鉱物資源をめぐる動向(上)
～JOGMEC カレント・トピックス～

独立行政法人エネルギー・金属鉱物資源機構(高原一郎理事長)がこのほど、カレント・トピックス「2023年 金属鉱物資源をめぐる動向」を公表した。地球温暖化など喫緊の課題が迫っているだけに重要鉱物の国家政策など話題は多く、サプライチェーンなどを見通す重要なデータとなっている。新年に発表された、金属企画部調査課の報告の要約を3回に分けて紹介する。

〈はじめに〉

今回は、重要鉱物をめぐる各国の政策に関連した話題が多くなっているのが特徴。気候変動対策やエネルギートランジションを進める上で、重要鉱物の重要性が急速に高まったことと併せ、重要鉱物のサプライチェーンについて経済安全保障という観点を各国が強く意識するようになったことが要因である。そうした背景から、例年にも増して多くの話題があった年だったが、今後の動向を注視するため重要トピックを振り返る機会として活用していただければ幸いである。

◆バッテリーメタル(ニッケル、コバルト、リチウム)・レアアース市況動向

23年のニッケルは、インドネシアの増産を背景に世界的な供給過剰となり、価格は軟調に推移した。年初は30,000US\$/tだったが、12月は16,000US\$/tで越年した。23年は世界的な供給過剰で基本的に通年下落傾向となった。ニッケルの23年のトピックとしては、1月に中国青山集団が中国国内の銅製錬所をニッケル製錬所に転換する計画を発表したほか、インドネシアでは6月にPT Halmahera Persada Lygendが国内初の硫酸ニッケル生産を開始した。インドネシアはニッケル版OPECの設立を3か国と協議していると公表した。

コバルトも中国の需要減を背景に価格は低迷した。年初は50,000US\$/tだったが、中国の景気が低迷していたため、民生用リチウムイオン電池(LIB)需要を中心に需要が回復しない中、DRコンゴMutanda鉱山の生産回復や、同国Tenke Fungurume鉱山の輸出禁止の解除、インドネシアでのニッケル副産物としての生産増から需給が緩和し、12月は28,000US\$/tで越年した。

22年史上最高値を更新したリチウムは、23年に入り下落基調に転じ、1年を通じ下落が続いた。22年末で中国での電気自動車(EV)購入補助金が打ち切られたのを発端にEV需要が減退したほか、前年の高騰時に各正極材メーカーが抱えた在庫を放出したこともリチウム需要減、価格下落の要因となった。しかし、リチウムは正極材に様々なタイプがあっても一様に使われる原料であり、さらに中国では比較的安価なEVに搭載されるLFP(リン酸鉄リチウム)の正極材が普及、長期的な需要は底堅く、むしろ増加の一途との予測がある。22年は市況が混乱したが、23年はむしろ本来の

適正価格に戻る動きだったとも捉えられる。

レアアースは、全体として22年より変動は小さかったものの、主にネオジム、ジジム、ジスプロシウム等NdFeB磁石関連品目で変動があった。22年末で中国の新エネルギー車(NEV)補助金政策が終了したことをきっかけに磁石需要が失速、加えて酸化物等原料の供給安定により下落傾向となり、5月上旬にかけてネオジム、ジジム等の磁石向け軽希土類は年初比約4割安、ジスプロシウム等の磁石向け重希土類は同比約2割安となった。その後、磁石向け軽希土類に関しては需要供給共に大きな変動要因はなく小幅な上下を繰り返して23年末まで停滞が続いた。一方、磁石向け重希土類は、8月末～9月初旬に起きたミャンマーから中国への一時的な製品輸出停止、国内査察に伴う鉱山採掘停止の影響が懸念され、12月上旬に22年6月以来の高値(年初比約104%)まで上昇、そのまま高値安定で越年した。

◆ベースメタル市況動向：需要不振が依然として重し

23年のベースメタル価格も、22年から続く中国の需要不振や米国の金融引き締め政策がもたらす影響が重しとなった。

銅は、23年に入った直後、中国のゼロコロナ政策が事実上の終了を迎えたことで中国需要の増加期待が高まり、9,500US\$/tに迫る勢いで上昇した。一方、中国で実需回復の遅れが懸念されていることや、米連邦準備制度理事会(FRB)におけるインフレ抑制の金融引き締め政策継続によって価格は下落し、10月には8,000US\$/tを下回った。その後も、中国当局が発表した多数の景気刺激策は市場が期待する具体的な内容を含んでおらず、需要増加への手がかりに欠けた。また米政策金利の利上げも、上昇の勢いは市場予測に収まるものの高止まりが見込まれたことで上値を抑制した。

一方、加First Quantum社のCobre Panama銅鉱山をめぐる問題により鉱石の供給懸念が高まったことが価格を押し上げた。依然マイナスのマクロ経済要因が重しとなっているが、期末は8,200～8,500US\$/t付近まで上昇した。

亜鉛も、1月に中国需要増加期待により3,500US\$/tを突破したが、その後下落に転じ5月の終わりには2,200US\$/t付近まで落ち込んだ。しかしこの価格低迷を受けて、収益性が悪化した亜鉛鉱山が次々と操業停止に陥った。最初はスウェーデンBoliden社のアイルランドTara鉱山で、6月にケア&メンテナンスに移行した同鉱山を含め、半年で6つの鉱山の操業が停止された。これらの鉱山操業停止によって世界全体で300千近い鉱石生産量が失われたとみられており、鉱石市場における供給懸念の高まりが価格の下支えとなって2,600US\$/tまで回復した。一方、期を通して実需の低迷継続が強く意識されているほか、中国において需要減退にもかかわらず地金生産が増強された。市場に需給逼迫感は少なく、下半期は2,500US\$/t付近を推移した。

鉛は、需要減退による圧迫が続き、1,900～2,300US\$/tの狭いレンジで推移した。需要懸念に押され、自動車バッテリー交換需要という季節的要因の影響はさほど大きくなかったとみられる。

(〈中〉へ続く)

故銅市況

前週末27日朝入電の海外相場は、LME（ロンドン金属取引所）銅相場で、直物の前場売値が、前営業日の8,486.00ドルより39.00ドル安の8,447.00ドル。直物の終値は、前営業日の8,477.50ドルより29.45ドル安の8,448.05ドル。3か月物の前場売値は、前営業日の8,579.00ドルより31.50ドル安の8,547.50ドル。3か月物の終値は、前営業日の8,568.50ドルより23.00ドル安の8,545.50ドル。COMEX（ニューヨーク商品取引所）銅相場の3月限は、前営業日の386.90セントより1.70セント安の385.20セント。SHFE(上海期貨交易所)銅相場の3月限は、前営業日の6万8,870元より140元高の6万9,010元。

週明け29日の東京為替市場TTSレートは、前週末の148.70円より0.55円の円安ドル高、1ドル=149.25円。27日に入電した直近のLME銅相場直物前場売値は8,447.00ドル。この値と29日の東京外国為替市場USドル

TTSレートから計算した国内採算値は、前週末の129万9,000円より1,000円安の129万8,000円。この日、電気銅建値は130万円に引き上げられた。

為替動向

26日、ロンドン外国為替市場のユーロは対ドルで上昇。16時、前日と比べ0.0030ドルのユーロ高ドル安、1ユーロ=1.0860ドル~1.0870ドルで推移した。欧州の株式相場上昇を受けユーロが買われた。この日発表された米国の23年12月のPCE物価指数で食品とエネルギーを除くコア指数の上昇率が前年同月比で市場予想を下回ったことがユーロ買いドル売りを誘った。ただ、米国景気の底堅さを示す経済指標も発表されておりユーロの上値を抑えた。英ポンドも対ドルで上昇。16時、前日と比べ0.0030ドルのポンド高ドル安、1ポンド=1.2720ドル~1.2730ドルで推移した。

26日のニューヨーク外国為替市場で円相場は続落した。前日と比べ0.50円の円安ドル高、1ドル=148.10円~148.20円で取引を終えた。26日発表の23年12月PCEで前月比が0.7%増と市場予想の0.5%増を上回った。コア指数上昇率で前年同月比が2.9%と前月の3.2%から鈍化、市場予想の3.0%を下回ったことからインフレ減速基調が継続しソフトランディングへの期待が強まっている。23年12月の仮契約住宅販売指数は前月比で8.3%上昇、凡そ2%だった市場予想を大きく上回った。長期金利も一時4.16%に上昇。円が売られた。

29日早朝の東京外国為替市場でも円相場は下落した。8時30分、前週末17時と比べ0.25円の円安ドル高、1ドル=148.02円~148.05円で推移した。米国では底堅い景気を背景に長期金利が上昇、日米の金利差拡大を意識した円売りドル買いが優勢になった。円は対ユーロでも下落。8時30分、前週末17時と比べ0.67円の円安ユーロ高、1ユーロ=160.55円~160.60円で推移した。

故銅直納問屋筋の平均値頃感 (単位は千円)

(1月29日更新)

直納問屋筋によるロット物（5トン前後）の平均的な値頃感は次の通り。

ピカ線が1126~1131、上銅新のうちタフピッチや無酸素銅などは1091~1096、並銅は1056~1066、込銅（高品位=約97%）は1046、セパは745~750。コーベルは要り用筋で686、それ以外は671ほど。黄銅削粉も同様に要り用筋696、それ以外666~676どころの値頃。並青銅鋳物削粉は924~929どころ。

小口市中相場(1トン前後)では、ピカ線が1106~1126、上銅新くずが1071~1091、普通上銅が1046~1066、2号銅線が1038~1058、並銅が1036~1056、込銅(94-97%)が984、込銅(90-93%)が986、下銅が542~592、セパが710~745、コーベルが626~671、黄銅棒地が621~666、黄銅削粉が616~661、黄銅ラジが581~589、交叉ラジが614~671、黄銅鋳物が587~594、送りが347~366、上青銅鋳物が921~941、並青銅鋳物が901~916、上青銅鋳物削粉が916~936、並青銅鋳物削粉が891~911どころ。

鋼・非鉄金属地金全般

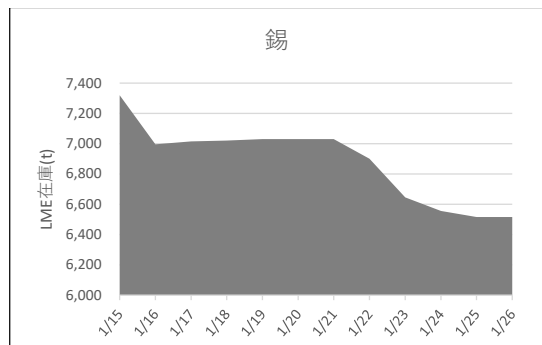
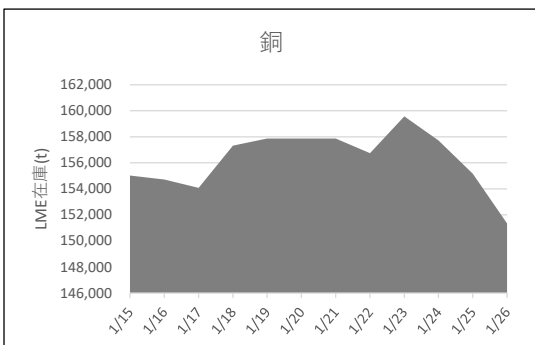
株式会社 オカモト

代表取締役 岡本宜三

大阪府堺市美原区黒山 696

☎ 072-361-2264 fax 072-361-2265

LME認定倉庫在庫推移 1月15日~1月26日(現地)





LME銅相場は反落 直物終値は8,448.05ドル

COMEX銅相場は続 SHFE銅相場は続伸

LME非鉄相場はまちまち 直物終値は亜鉛2,570.50ドル、アルミ2,238.36ドル



27日朝入電した海外相場は、LME（ロンドン金属取引所）の銅相場で、直物の前場売値が、1月26日入電の8,486.00ドルより39.00ドル安の8,447.00ドル。4営業日ぶりの反落で0.46%安。この週2.08%の上伸。1月に入って0.34%の下落。3か月物の前場売値は、1月26日入電の8,579.00ドルより31.50ドル安の8,547.50ドル。4営業日ぶりの反落で0.37%安。この週2.30%の上伸。1月に入って0.38%の下落。LME公認倉庫の現地1月25日銅在庫は、前日の15万5,175トンより3,825トン減の15万1,350トン。

COMEX（ニューヨーク商品取引所）の銅相場は、1月限が、1月26日入電の386.55セントより1.50セント安の385.05セント。2営業日の続落で0.82%安。この週1.68%の上伸。1月に入って0.77%の下落。2月限は、1月26日入電の386.35セントより1.55セント安の384.80セント。2営業日の続落で0.89%安。この週1.64%の上伸。1月に入って0.90%の下落。

SHFE（上海期貨交易所）銅相場は、2月限が、1月26日入電の6万8,780元より150元高の6万8,930元。3営業日の続伸で1.55%高。この週1.85%の上伸。1月に入って0.06%の下落。中心限月に当たる3月限は、1月26日入電の6万8,870元より1.40元高の6万9,010元。3営業日の続伸で1.63%高。この週2.04%の上伸。1月に入って0.07%の上伸。

錫は続伸

LME錫相場の前場売値は、直物が、1月26日入電の2万6,450.00ドルより100.00ドル高の2万6,550.00ドル。4営業日の続伸で4.63%高。この週3.91%の上伸。1月に入って5.46%の上伸。3か月物の前場売値は、1月26日入電の2万6,650.00ドルより75.00ドル高の2万6,725.00ドル。4営業日の続伸で4.19%高。この週3.79%の上伸。1月に入って4.80%の上伸。LME公認倉庫の現地1月25日錫在庫は、前日より横ばいの6,515トン。

鉛は続落

LME鉛相場の前場売値は、直物が、1月26日入電の2,169.00ドルより20.00ドル安の2,149.00ドル。2営業日の続落で1.22%安。この週3.47%の上伸。1月に入って5.81%の上伸。3か月物の前場売値は、1月26日入電の2,157.50ドルより13.50ドル安の2,144.00ドル。2営業日の続落で1.13%安。この週2.44%の上伸。1月に入って3.68%の上伸。LME公認倉庫の現地1月25日鉛在庫は、前日の10万9,575トンより1,100トン増の11万0,675トン。

亜鉛は反落

LME亜鉛相場の前場売値は、直物が、1月26日入電の2,595.00ドルより13.00ドル安の2,582.00ドル。4営業日ぶりの反落で0.50%安。この週5.00%の上伸。1月に入って2.22%の下落。3か月物の前場売値は、1月26日入電の2,596.00ドルより6.00ドル安の2,590.00ドル。4営業日ぶりの反落で0.23%安。この週4.82%の上伸。1月に入って2.41%の下落。LME公認倉庫の現地1月25日亜鉛在庫は、前日の19万3,475トンより1,875トン減の19万1,600トン。

アルミは反発 アルミ合金は横ばい 北米特殊は上伸

LMEアルミ相場の前場売値は、直物が、1月26日入電の2,188.50ドルより23.50ドル高の2,212.00ドル。反発して1.07%高。この週4.24%の上伸。1月に入って5.29%の下落。3か月物の前場売値は、1月26日入電の2,230.00ドルより20.00ドル高の2,250.00ドル。反発して0.90%高。この週3.95%の上伸。1月に入って5.54%の下落。LME公認倉庫の現地1月25日アルミ在庫は、前日の54万5,050トンより1,200トン増の54万6,250トン。

LMEアルミ合金相場の前場売値は、直物が、1月26日入電より横ばいの1,935.00ドル。この週4.91%の下落。1月に入って24.84%の上伸。3か月物の前場売値も、1月26日入電より横ばいの1,935.00ドル。この週4.91%の下落。1月に入って24.84%の上伸。

LME北米特殊アルミ合金（NASAAC）相場の前場売値は、1月26日入電の2,285.00ドルより20.00ドル高の2,305.00ドル。上伸して0.88%高。この週0.88%の上伸。1月に入って0.88%の上伸。3か月物の前場売値は、1月26日入電の2,285.00ドルより20.00ドル高の2,305.00ドル。上伸して0.88%高。この週0.88%の上伸。1月に入って0.88%の上伸。

ニッケルは続伸

LMEニッケル相場の前場売値は、直物が、1月26日入電の1万6,360.00ドルより175.00ドル高の1万6,535.00ドル。4営業日の続伸で4.75%高。この週3.77%の上伸。1月に入って1.44%の上伸。3か月物の前場売値は、1月26日入電の1万6,625.00ドルより165.00ドル高の1万6,790.00ドル。4営業日の続伸で4.90%高。この週3.71%の上伸。1月に入って1.33%の上伸。LME公認倉庫の現地1月25日ニッケル在庫は、前日の6万9,330トンより54トン減の6万9,276トン。

LME公示価格(US\$)／1月26日

		銅	錫	鉛	亜鉛	アルミ	アルミ合金	北米特殊アルミ合金	ニッケル
直物	公示価格	8,447.00	26,550.00	2,149.00	2,582.00	2,212.00	1,935.00	2,305.00	16,535.00
	前営業日比	▲ 39.00	100.00	▲ 20.00	▲ 13.00	23.50	0.00	20.00	175.00
	週間増減比	2.08%	3.91%	3.47%	5.00%	4.24%	▲ 4.91%	0.88%	3.77%
先物	公示価格	8,547.50	26,725.00	2,144.00	2,590.00	2,250.00	1,935.00	2,305.00	16,790.00
	前営業日比	▲ 31.50	75.00	▲ 13.50	▲ 6.00	20.00	0.00	20.00	165.00
	週間増減比	2.30%	3.79%	2.44%	4.82%	3.95%	▲ 4.91%	0.88%	3.71%

海外非鉄金属相場

(1月27日 入電・現地 1月26日)

1ロット=銅、鉛、亜鉛、アルミは25トン
錫5トン、アルミ合金20トン、ニッケル6トン
セツルメント=現物・前場・売

Table with columns for metal types (銅AG, 錫HG, 鉛, 亜鉛SHG, アルミHG, アルミ合金, 北米特殊アルミ合金, ニッケル, NYコメックス相場) and rows for current prices, previous prices, and high/low values.

Table with columns for market types (フリー・マーケット, NY相場, ロンドン相場, KLT M錫, LME在庫, 上海在庫, LMEプレマーケット, 上海相場) and rows for various metal prices and exchange rates.

Table for '採算価格' (Profitability Price) showing exchange rates for LME, COMEX, and Shanghai markets for various metals.

非鉄金属製品相場

(1月29日調べ)

(キロ当たり) ◎上げ ◆下げ

伸銅品	大阪	東京	鉛亜鉛製品	大阪	東京	電線(現場納め 定尺 関西地区 大口~小口)		
銅小板2.0ミリ	◎ 1650	◎ 1630	亜鉛板0.3×3×7	650	650	V V F		
建築用0.3ミリ	◎ 1700	◎ 1680	印刷用亜鉛板トッパン用	750	750	2C×1.6	59~61	
銅大板2×1×2	◎ 1780	◎ 1830	給水管13ミリ	280	280	2C×2.0	104~107	
銅管(ベース)	◎ 1810	◎ 1830	鉛板1.5ミリ	600	600	3C×1.6	109~112	
水道用管(m当たり)13ミリ	◎ 1720	◎ 1740	鉛線3ミリ	450	450	3C×2.0	157~160	
銅棒25ミリ	◎ 1560	◎ 1600	軽圧品		大阪	東京	I V	
銅条1.5×100	◎ 1615	◎ 1645	アルミ箔0.007ミリ	1160	1175	1.6mm	33.8~36	
銅線0.9ミリ	◎ 1640	◎ 1660	〃 小板1ミリ	795	805	5.5sq	92.7~98.6	
銅帯6×50	◎ 1520	◎ 1600	〃 大板1ミリ	775	795	14sq	231~245	
銅平角線	◎ 1840	◎ 1830	〃 5052板	835	845	CV-T		
黄銅小板2.0ミリ	◎ 1350	◎ 1335	〃 6061板	1360	1375	600V 3C×38	1765~1876	
〃 0.3ミリ	◎ 1380	◎ 1365	〃 2017板	1290	1405	600V 3C×60	2722~2893	
黄銅大板2×1×2	◎ 1500	◎ 1515	〃 線3ミリ	775	790	600V 3C×100	4570~4858	
黄銅管	◎ 1970	◎ 1810	〃 快削棒50ミリ	995	1010	6kV 3C×38	2867~3037	
復水器用黄銅管	◎ 1940	◎ 1780	〃 合金棒50ミリ(17S)	980	990	6kV 3C×60	4022~4260	
黄銅棒快削25ミリ	◎ 1090	◎ 1100	〃 合金棒50ミリ(56S)	935	950	CVV (関西~関東)		
六角棒	◎ 1120	◎ 1130	貴金属(一般小口向け)			3C×2	135~138	
四角棒	◎ 1150	◎ 1160	白金(グラム)	◎ 4866		4C×2	181~185	
鍛造用	◎ 1130	◎ 1140	パラジウム(グラム)	◎ 5197		6C×2	258~264	
ネーバル	◎ 1230	◎ 1240	金(グラム)	◎ 10646		7C×2	296~303	
高力	◎ 1230	◎ 1240	銀(キログラム)	◎ 123200		合金鉄 11月輸入単価 (CIF)		
黄銅線6ミリ	◎ 1535	1500	レアメタル輸入価格 11月通関 (CIF)			フェロマンガン2%以上炭素含有	158	
黄銅平角線ロール仕上	◎ 1735	1710	金属ケイ素(99.99%未満)	345		〃 その他	193.9	
黄銅条1.5×100	◎ 1345	1335	モリブデン酸化物	5530		フェロシリコン55%以上	237	
リン青銅板一般用1.0ミリ	2920	3110	タンタル	97928		フェロクロム4%以上炭素含有	285	
〃 バネ用0.3ミリ	3170	3370	マグネシウム	498		フェロモリブデン純分60%以上	5708	
リン青銅棒25ミリ	3030	3240	コバルト	5354		フェロバナジウム	3184	
リン青銅線3ミリ	3400	3610	インジウム	33625		フェロニッケル33%未満	562.6	
洋白板一般用1.0ミリ	3630	3780	銅合金地金 1月9日発表			電気亜鉛メッキ銅板冷延1ミリ	326	
〃 バネ用1.0ミリ	3760	3930	(標準価格) 大阪					

減摩合金 1月16日改定

(500kg以上、大口価格)	
1種	4470
2種	4355
3種	4225
4種	3765
5種	3525
7種	1430
8種	1275
9種	1115

銅合金地金 1月9日発表

BC	1種	1285	
	2種	1585	
	3種	1655	
	6種	1395	
	7種	1490	
YBSC	3種	1130	
LBC	3種	1585	
PBC	2種	1685	


<https://home.nikkankinzoku.co.jp/>

非鉄金属材料相場

キロ当たり円		◎上げ ◆下げ		(1月29日調べ)		インジウム 大口~小口(99.99%)		40,000 ~ 45,000(1)	
非鉄原料 (炉前材)		大阪 仲間相場	東京 仲間相場	地 金		大阪 仲間相場	東京 仲間相場		
1トン以上外税持込						高値	安値	高値	安値
1号銅線	◎ 1150	◎ 1141	電 気 銅	◎ 1265	◎ 1260	◎ 1267	◎ 1262	金	9,666(29)
2号銅線	◎ 1108	—	電 気 亜 鉛	426	420	426	420	銀	110,810(29)
上銅(新切)	◎ 1121	◎ 1111	蒸 留 亜 鉛	414	408	414	408	電気亜鉛	454(26)
雑ナゲット	◎ 986	◎ 985	再生ダイカスト亜鉛2種	353	347	353	347	錫(99.99%)	5,400(26)
並銅	◎ 1063	◎ 1047	再生亜鉛(98%)	311	305	311	305		
下銅	◎ 1044	◎ 1020	電 気 鉛	361	358	361	358		
銅削粉	◎ 1024	◎ 1020	再生鉛1号	344	334	344	339		
銅さい(30%)	25	25	再生鉛3号	349	345	349	345		
新切黄銅セパ	◎ 854	◎ 865	錫 1 号	4150	4100	4150	4100		
コ一ペル	◎ 818	◎ 821	ア ン チ モ ン	2050	2000	2050	2000		
黄銅棒地	◎ 796	◎ 809	ニッケル(メッキ用)	2500	2450	2500	2450		
黄銅削粉	◎ 790	◎ 805	コ バ ル ト	5100	4800	5100	4800		
並黄銅	◎ 780	◎ 735	セ レ ニ ウ ム	3800	3600	3800	3600		
黄銅ラジエター	◎ 652	◎ 644	ビ ス マ ス	1500	1400	1500	1400		
交叉ラジエター	◎ 728	◎ 686	カ ド ミ ウ ム	750	700	750	700		
黄銅鑄物	◎ 785	—	マ グ ネ シ ウ ム 合 金	480	460	480	460		
山送り(55%)	420	—	アルミ地金99.70%	◎ 376	◎ 372	◎ 378	◎ 374		
上青銅鑄物	◎ 909	—	アルミ二次地金99%	328	323	328	323		
並青銅鑄物	◎ 907	◎ 896	〃 90%	303	298	303	298		
上青銅鑄物削粉	◎ 902	—	アルミ二次合金ADC12	421	416	424	419		
並青銅鑄物削粉	◎ 892	◎ 880	鑄物用 C2BS	446	441	448	443		
新切リン青銅(仲間)	—	◎ 1140	青銅合金地金3種	◎ 1615	◎ 1605	1695	1685		
〃 (鑄物)	◎ 1023	—	〃 6種	◎ 1365	◎ 1355	1385	1375		
リン青銅削粉	◎ 941	◎ 934	ハンダ錫60%	3000	2960	3020	2990		
新切洋白(電子材)	◎ 953	◎ 941	〃 50%	2605	2555	2625	2595		
新切亜鉛	270	270	〃 40%	2275	2215	2230	2200		
ダイカストくず	180	180	減摩合金2種	4260	4230	4265	4235		
亜鉛ドロス	160	170	〃 4種	3705	3680	3710	3680		
上鉛	198	196	〃 7種	1375	1325	1375	1325		
電池素鉛ケース込	80	80	ステンレス・特金	18-8ステンレス 新切		55	60		
活字鉛	177	174		〃 グライ粉		40	45		
新切アルミ1級	235	242		高耐食ステンレスSUS316		200	200		
新切サッシ1級	237	240		耐熱ステンレスSUS310		265	265		
新切合金1級	227	225		13クローム 新切		28	29		
機械鑄物1級	205	221		ハイス 9種		180	180		
ビス付サッシP	215	215							
合金削粉P	160	164							
込ガラP	133	135							
カン・バラ	158	153							


 非鉄金属材料相場面
 PW:nikkin202401